

原料費調整制度について

当社では、ガス料金の透明化を図るために、L P ガスの輸入価格に応じてL P ガスの販売価格を調整する、原料費調整制度を導入しております。当社では毎月調整を行っており、従量料金に対して調整が行われます。L P ガスの輸入価格は、サウジアラビア、北米等の輸出価格（C P ・M B）、為替レート、タンカー運賃等の変動により変わってきます。当社では、L P ガス料金の安定の観点から中東品のL P ガスと北米品のL P ガスの両方を採用しています。調整額につきましては、当社ホームページまたは、検針票にてご確認いただけます。

原料費調整額の算出方法の一例

2018年12月の調整額の算出方法 $+0.6/m^3$

基準原料価格 **63,900円/t**

中東品コスト

C P（\$/t） 11月=540 12月=445

合成C P（\$/t）11月C Pと12月C Pの平均 = $(540+445) \div 2 = 492.5$

合成C P × 為替（前月1日～末日の平均為替） + 中東タンカー運賃（円/t） × 0.75（割合）

$492.5 \times 114.36 + 5800 \div 62120$ （1の位四捨五入） × 0.75 $\div 46590$ （1の位四捨五入）

北米品コスト

M B（\$/t） 11月=387.41

米国物流経費（\$/t） 87.0

（M B + 米国物流経費） × 為替（前月1日～末日の平均為替） + 北米タンカー運賃（円/t） × 0.25（割合）

$(387.41+87) \times 114.36 + 8700 \div 62950$ （1の位四捨五入） × 0.25 $\div 15740$ （1の位四捨五入）

※石油石炭税 **1,860（円/t）**

中東品コスト + 北米品コスト + 石油石炭税

46590+15740+1,860=64190

64190 - 63900 = 290

290 ÷ 1,000 = 0.29円/kg

0.29 ÷ 0.482 $\div 0.6円/m^3$ （小数第二位四捨五入）

※0.482はL P ガスのkgとm³間の産気率